令和７年度 熱田区 区民アンケート

アンケート結果

令和８年１月

熱 田 区 役 所

調査の概要

１．調査の目的

区政運営方針に対する区民の意見や取り組みへの評価等を把握するとともに、昨年度実施した調査との比較を行い、区将来ビジョンの成果指標の現状値計測を含め、今後の区政運営のための基礎資料とする。

２．調査の地域

名古屋市熱田区の全域

３．調査の対象

区内居住の１８歳以上の男女１，２００人

４．調査対象抽出方法

無作為抽出法

５．調査方法

通達員配布後 郵送またはオンラインにて回収

６．調査期間

令和７年 ７月２３日～ ８月１３日

７．回答者数

５２１人（回答率４３．４％）

【内訳】

郵送での回答　　３２９人（６３．１％）

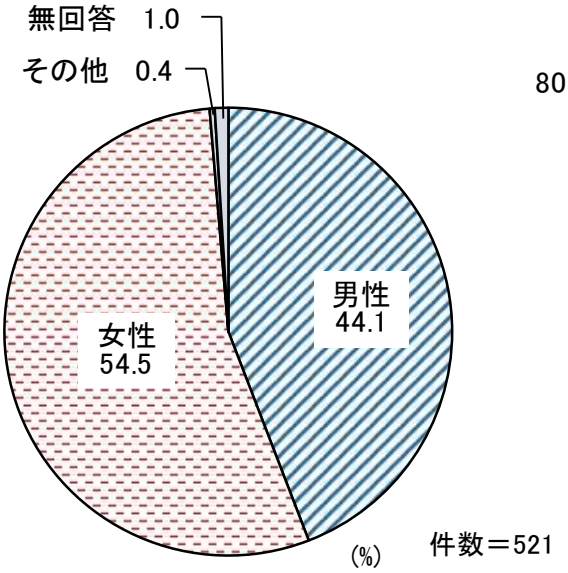
オンラインでの回答　　１９２人（３６．９％）

調 査 の 結 果

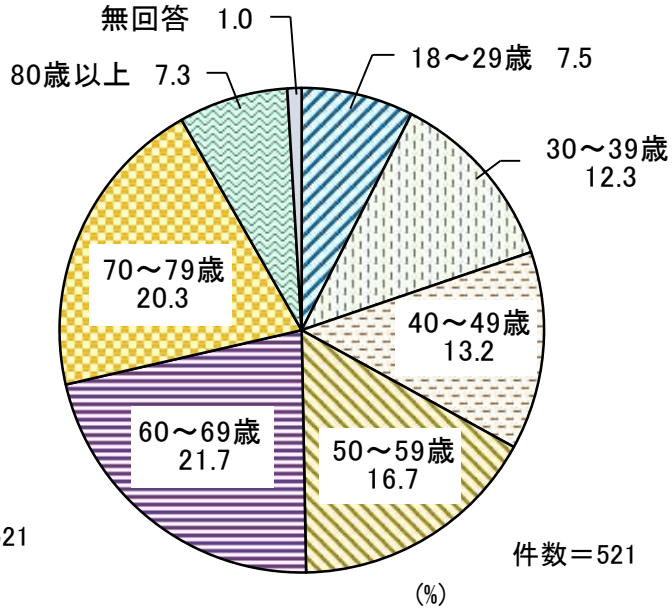
1　あなたご自身のことについて

1－1　対象者の属性

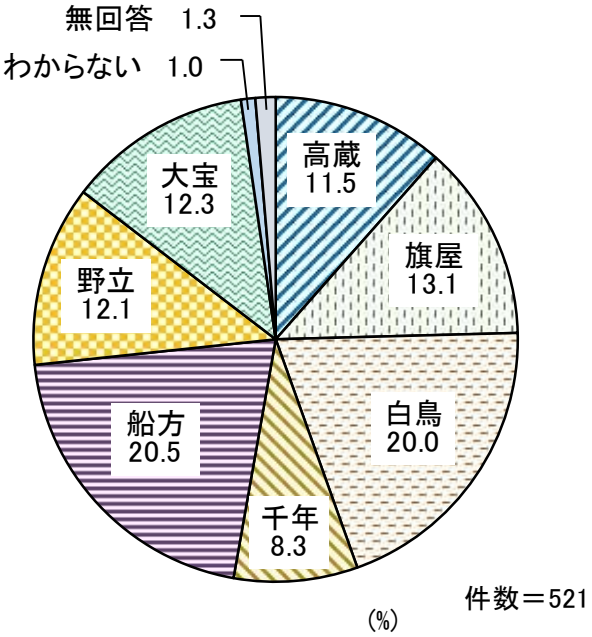
■性別



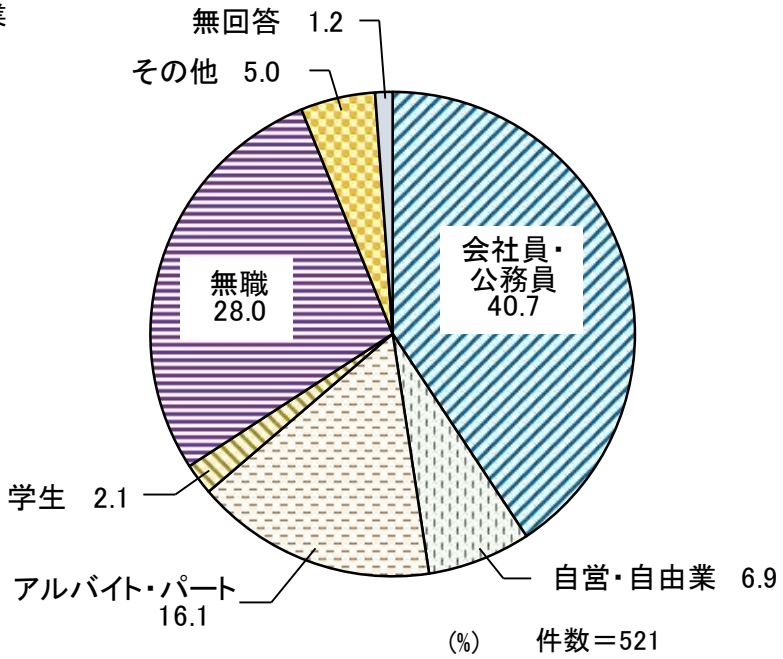
■年齢



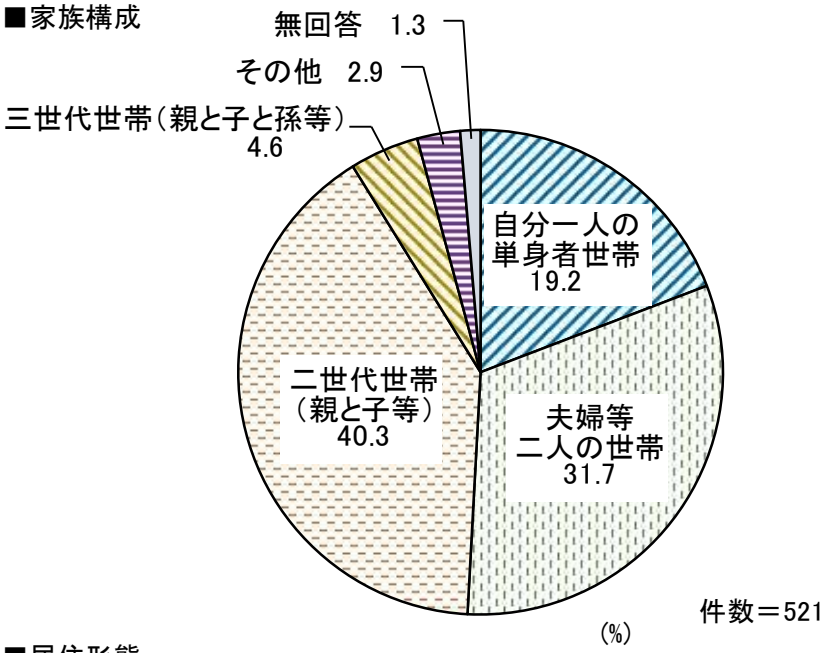
■居住学区



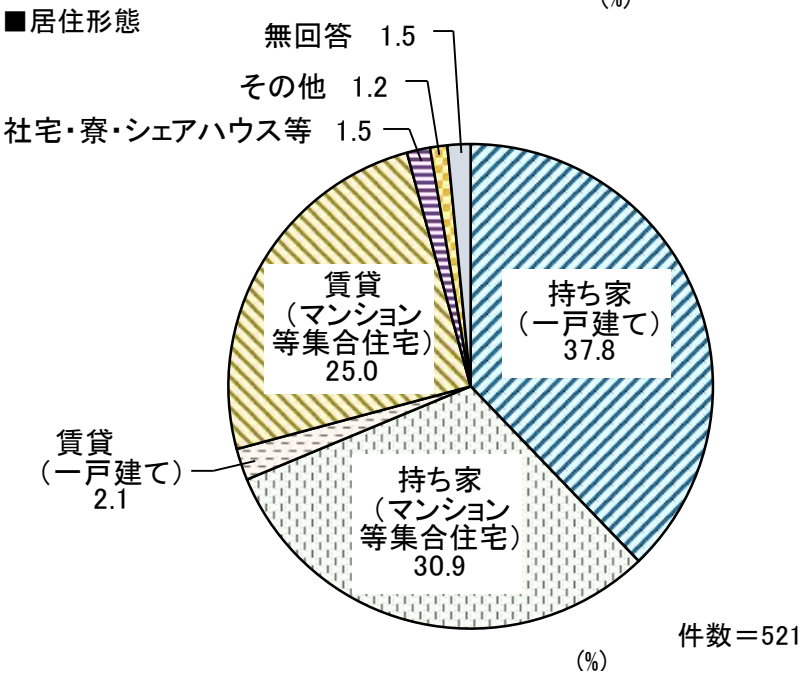
■職業


無回答　1.2
その他　5.0
会社員・公務員 40.7
無職 28.0
学生　2.1
アルバイト・パート 16.1
自営・自由業　6.9
(%)
件数＝521

■家族構成


無回答　1.3
その他　2.9
三世代世帯（親と子と孫等） 4.6
自分一人の単身者世帯 19.2
二世代世帯（親と子等） 40.3
夫婦等二人の世帯 31.7
件数＝521
(%)

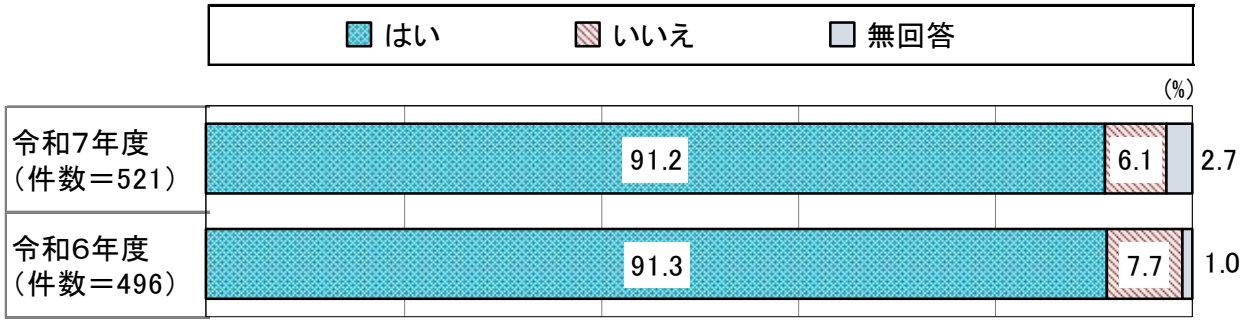
■居住形態


無回答　1.5
その他　1.2
社宅・寮・シェアハウス等　1.5
賃貸（マンション等集合住宅） 25.0
持ち家（一戸建て） 37.8
賃貸（一戸建て） 2.1
持ち家（マンション等集合住宅） 30.9
件数＝521
(%)

１－２　居住継続意向の有無

○　これからも熱田区に住みつづけたいと思うかについては、「はい」の割合は 91.2％で、9 割以上が住みつづけたいと回答している。一方、「いいえ」の割合は 6.1％となっている。
○　昨年度調査と比較しても、ほとんど差異はみられない。

問７．これからも熱田区に住みつづけたいと思いますか。



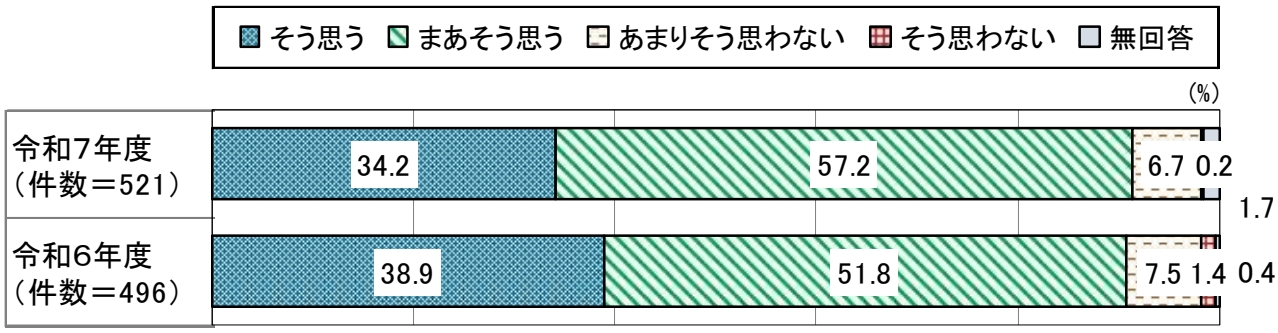
２．「熱田区」について

２－１　「安心・安全で快適なまち」かについて

○　「安心・安全で快適なまち」だと思うかについては、「まあそう思う」の割合が 57.2%と最も高く、「そう思う」の 34.2%と合わせて 91.4%と 9 割が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(6.7%) と「そう思わない」(0.2%) を合わせた否定的な評価をする割合は 6.9%となっている。

○　昨年度調査と比較すると、評価の強弱に差はあるものの、特に大きな差異はみられない。

問８．熱田区は「安心・安全で快適なまち」だと思いますか。

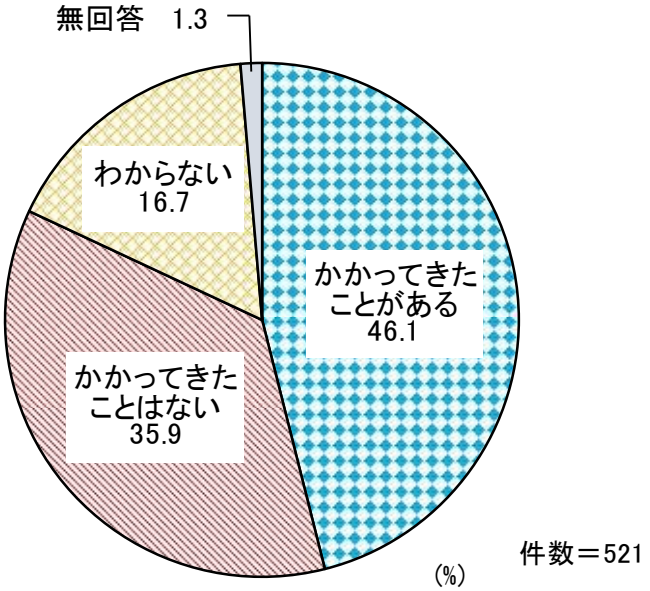


２－２　特殊詐欺について

（１）特殊詐欺が疑われる不審電話の経験

○　特殊詐欺が疑われる不審な電話が、あなたやあなたの身近な方にかかってきたことがあるかについては、「かかってきたことがある」が 46.1％と半数近くみられ、「かかってきたことはない」は 35.9％となっている。

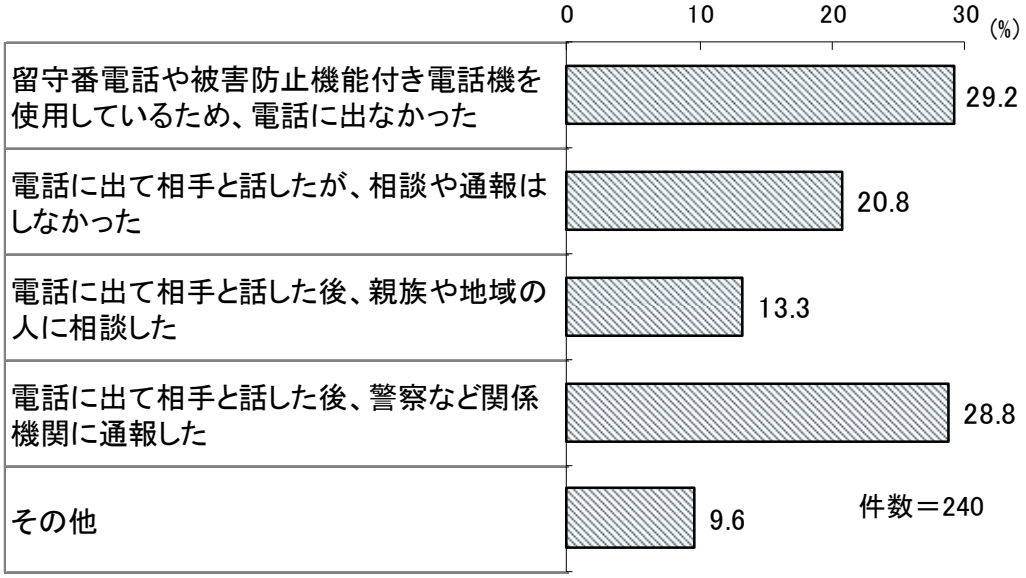
問９．あなたやあなたの身近な方で、特殊詐欺が疑われる不審な電話がかかってきたことがありますか。



（２）不審電話受信時の対応

○　特殊詐欺が疑われる不審な電話がかかってきた方（240 名）がした主な対応としては、「留守番電話や被害防止機能付き電話機を使用しているため、電話に出なかった」（29.2%）と「電話に出て相手と話した後、警察など関係機関に通報した」（28.8%）が、それぞれ 3 割程と多く、「電話に出て相手と話したが、相談や通報はしなかった」（20.8%）が 2 割、「電話に出て相手と話した後、親族や地域の人に相談した」（13.3%）が 1 割以上と続いている。

問 10.（問９で「1　かかってきたことがある」を選んだ方にお聞きします。）
あなたやあなたの身近な方で、特殊詐欺が疑われる不審な電話がかかってきたときに、主にどのように対応しましたか。

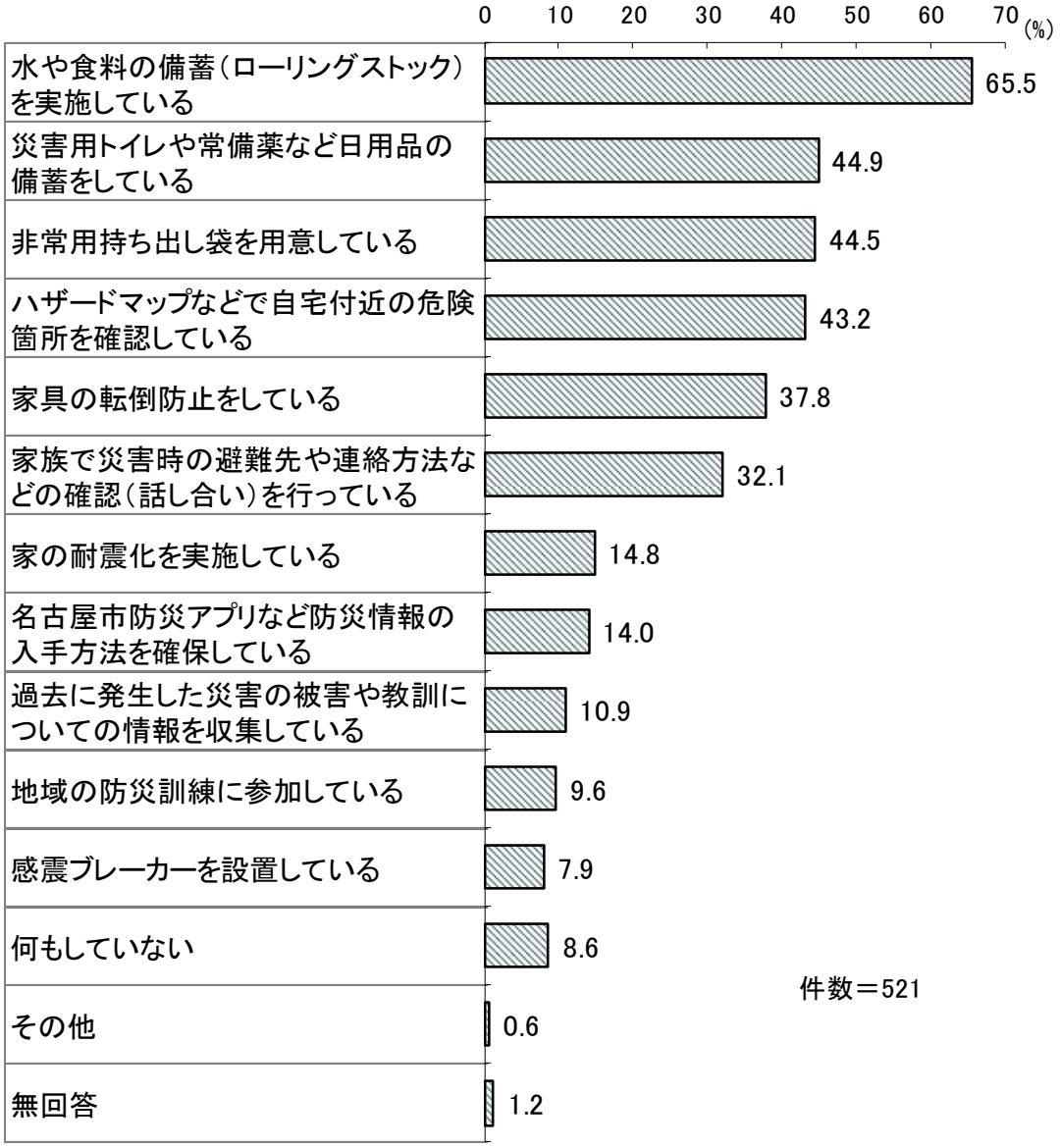


２－３　災害について

（１）災害に対しての準備

○　災害に対して行っている準備としては、「水や食料の備蓄（ローリングストック）を実施している」が 65.5％と最も高く、6 割以上が準備している。以下、「災害用トイレや常備薬など日用品の備蓄をしている」（44.9％）、「非常用持ち出し袋を用意している」（44.5％）、「ハザードマップなどで自宅付近の危険箇所を確認している」（43.2％）が、それぞれ 4 割以上、「家具の転倒防止をしている」（37.8％）、「家族で災害時の避先や連絡方法などの確認（話し合い）を行っている」（32.1％）が、それぞれ 3 割台で続いており、そのほかの項目はそれぞれ 1 割前後となっている。一方、「何もしていない」は 8.6％と 1 割に満たない。

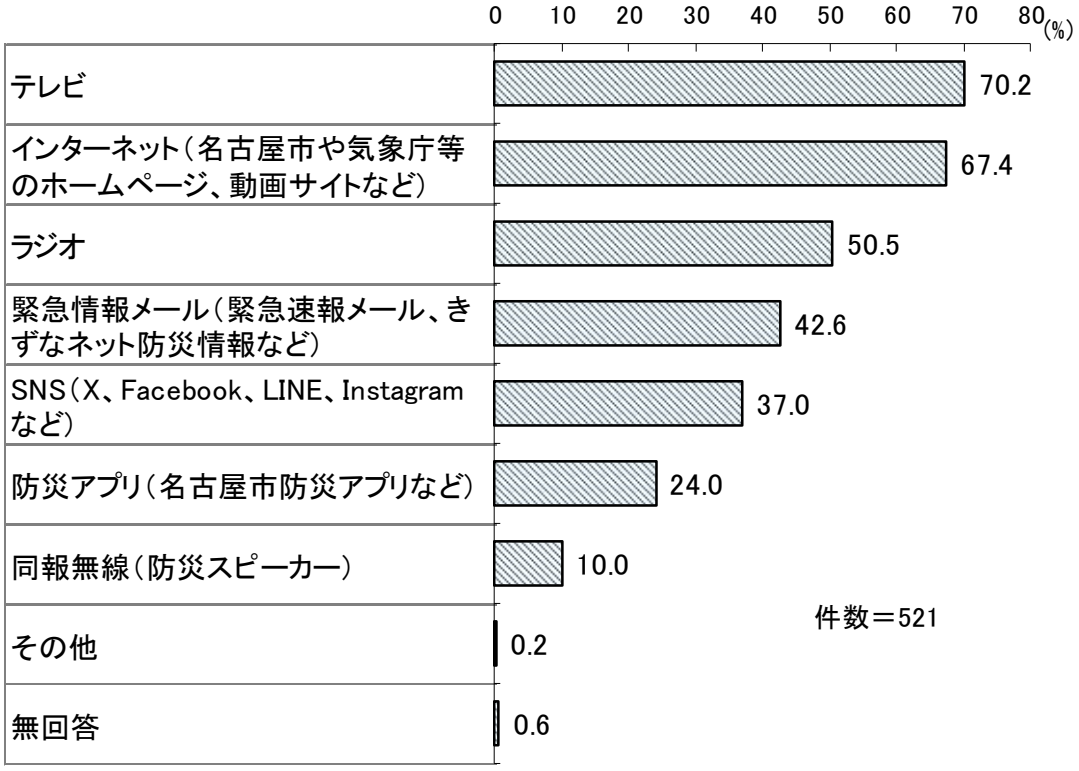
問 11.　災害に対してどのような準備をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



（２）防災情報を得るために利用する媒体

○　災害時に防災情報を得るために利用しようと思う媒体としては、「テレビ」(70.2%) と「インターネット（名古屋市や気象庁等のホームページ、動画サイトなど)」(67.4%) が、それぞれ 7 割程と高く、「ラジオ」(50.5%)、「緊急情報メール（緊急速報メール、きずなネット防災情報など)」(42.6%)、「SNS（X、Facebook、LINE、Instagram など)」(37.0%)、「防災アプリ（名古屋市防災アプリなど)」(24.0%)、「同報無線（防災スピーカー)」(10.0%) と続いている。

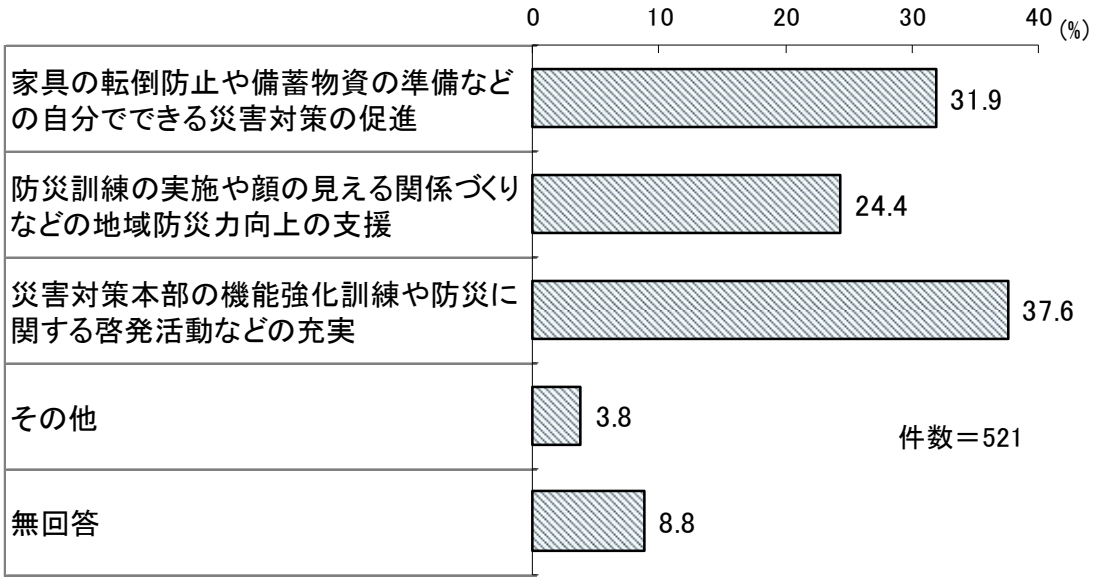
問 12. 災害時に防災情報を得るために利用しようと思う媒体は何ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。



（３）防災力・減災力向上のためにより力を入れてほしいこと

○　熱田区の防災力・減災力向上のためにより力を入れてほしいと思うこととしては、「災害対策本部の機能強化訓練や防災に関する啓発活動などの充実」が 37.6%で最も高く、「家具の転倒防止や備蓄物資の準備などの自分でできる災害対策の促進」は 31.9%、「防災訓練の実施や顔の見える関係づくりなどの地域防災力向上の支援」は 24.4%と続いている。

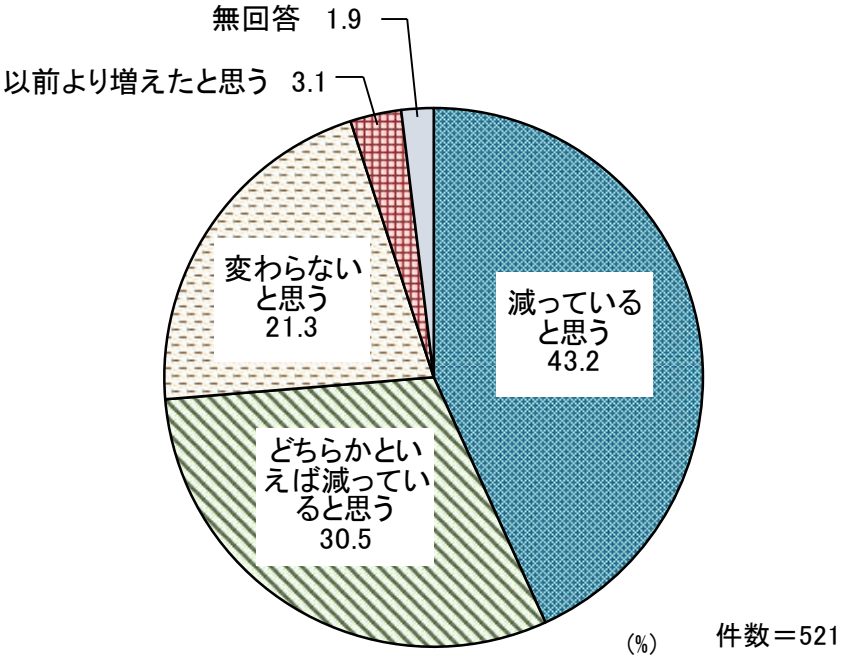
問 13.　熱田区の防災力・減災力向上のためにより力を入れてほしいと思うことは何ですか。



２－４　犬のふんについて

○　まちで見かける犬のふんについては、以前に比べて「減っていると思う」が 43.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば減っていると思う」が 30.5%であり、合わせて 73.7%と 7 割以上が減っていると感じている。一方、「変わらないと思う」は 21.3%となっていて、「以前より増えたと思う」は 3.1%と僅かとなっている。

問 14.　まちで見かける犬のふんは以前に比べて減っていると思いますか。



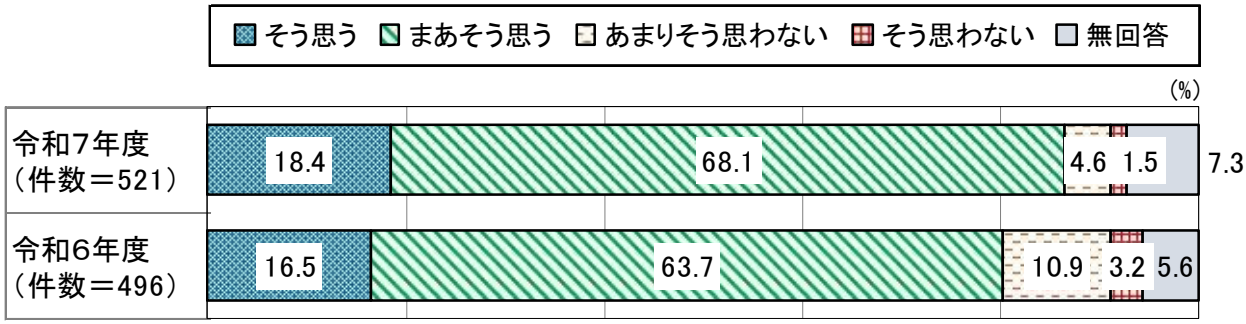
２－５　子育てについて

（１）「子育てがしやすいまち」かについて

○　熱田区は「子育てがしやすいまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が 68.1%と最も高く、「そう思う」の 18.4%と合わせて 86.5%と 9 割近くが肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(4.6%)、「そう思わない」(1.5%) 合わせて否定的な評価の割合は 6.1%と少なくなっている。

○　昨年度調査と比較すると、否定的な評価の割合が 8 ポイント減少するなど、評価は向上している。

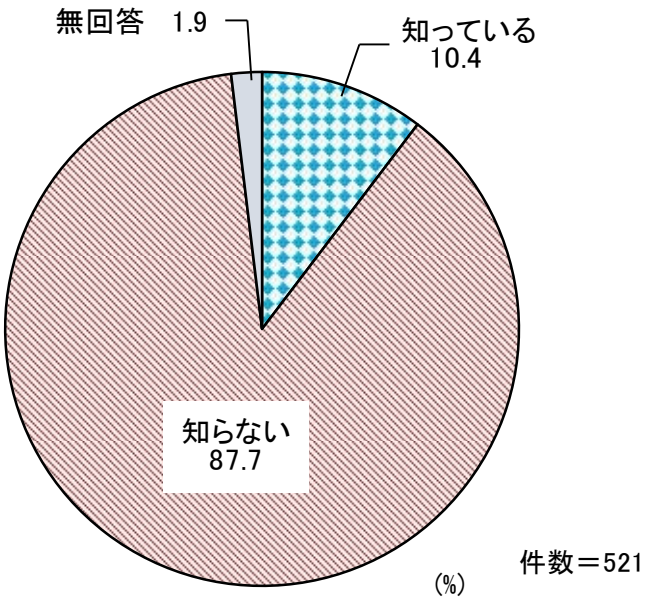
問 15. 熱田区は「子育てがしやすいまち」だと思いますか。



（２）子育て応援ポータルサイト「あつた子育てねっと」の認知

○　熱田区の様々な子育て情報を集約したあつた子育て応援ポータルサイト「あつた子育てねっと」については、「知っている」が 10.4％と 1 割であり、「知らない」が 87.7％と 9 割程を占めている。

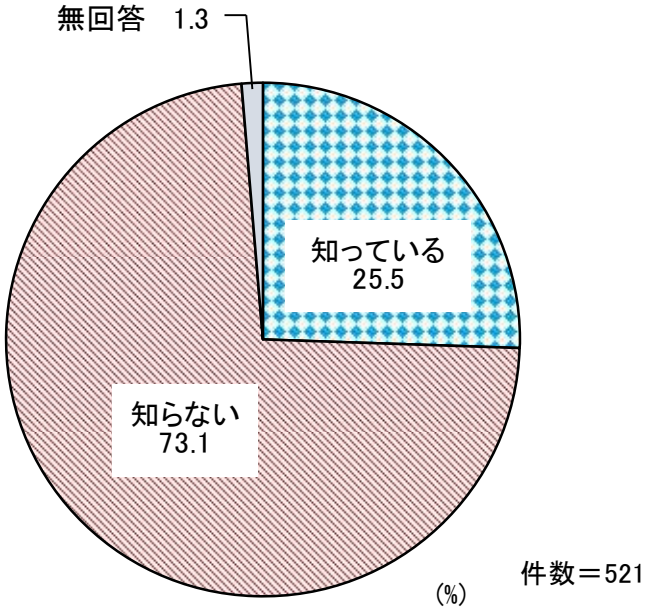
問 16. 熱田区の様々な子育て情報を集約したあつた子育て応援ポータルサイト「あつた子育てねっと」を知っていますか。



（３）児童相談所虐待対応ダイヤル「１８９」の認知

○　児童相談所虐待対応ダイヤル「１８９」（いちはやく）については、「知っている」が 25.5%となっており、「知らない」が 73.1%と 7 割以上を占めている。

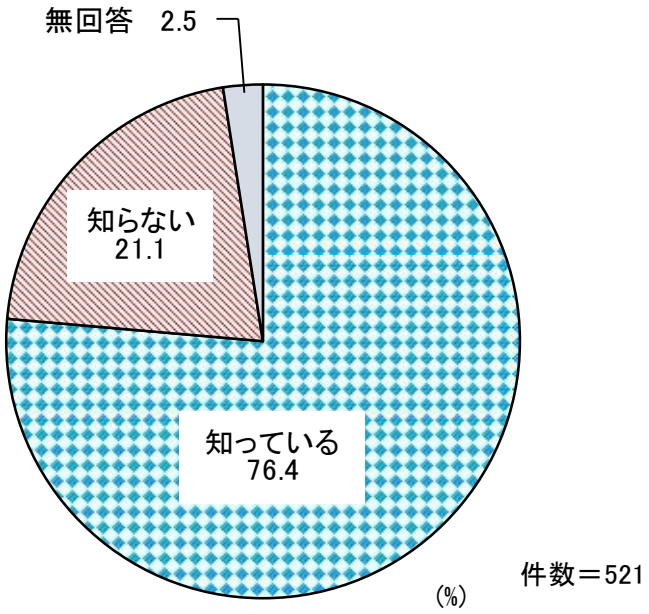
問 17. 児童相談所虐待対応ダイヤル「１８９」（いちはやく）を知っていますか。



（４）児童虐待のうち心理的虐待について

○　直接子どもに暴力を加えなくても、子どもの見ている前で夫婦間で暴力をふるったり、物を投げるなど激しい口論をすることが、児童虐待のうち心理的虐待にあたることについては、「知っている」が 76.4%と 8 割近くを占めており、「知らない」は 21.1%と 2 割程となっている。

問 18. 直接子どもに暴力を加えなくても､子どもの見ている前で夫婦間で暴力をふるったり、物を投げるなど激しい口論をすることが、児童虐待のうち心理的虐待にあたることを知っていますか。

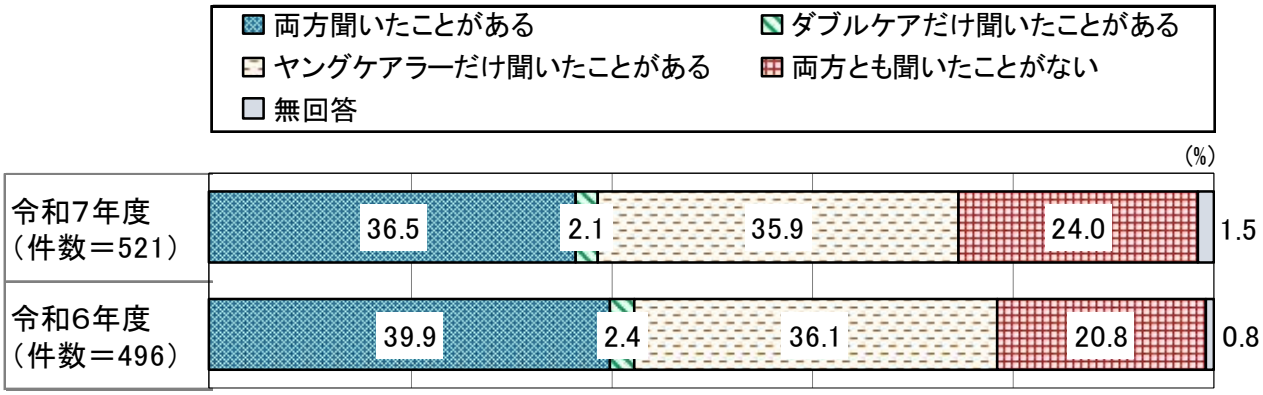


（５）ダブルケア、ヤングケアラーの認知

○　ダブルケア、ヤングケアラーという言葉を聞いたことがあるかについては、「両方聞いたことがある」が 36.5%、「ヤングケアラーだけ聞いたことがある」が 35.9%と高く、合わせて 72.4%がヤングケアラーという言葉を聞いている。また、「ダブルケアだけ聞いたことがある」は 2.1%と合わせて 38.6%がダブルケアという言葉を聞いている。一方、「両方とも聞いたことがない」は 24.0%となっている。

○　昨年度調査と比較すると、「両方聞いたことがある」の割合が 3 ポイント減少しており、ダブルケア、ヤングケアラーともに、認知度はやや低下している。

問 19.　ダブルケア、ヤングケアラーという言葉を聞いたことがありますか。

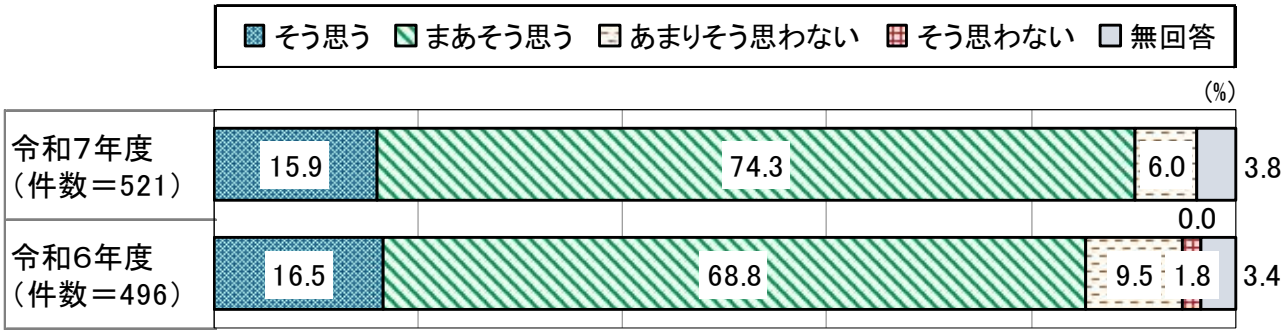


（６）「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」かについて

○　熱田区は「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が 74.3％と最も高く、「そう思う」は 15.9％で合わせて 90.2％と 9 割が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」は 6.0％で、「そう思わない」は皆無であり、否定的な評価の割合は 6.0％となっている。

○　昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合が増加しており、評価は向上している。

問 20.　熱田区は「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」だと思いますか。

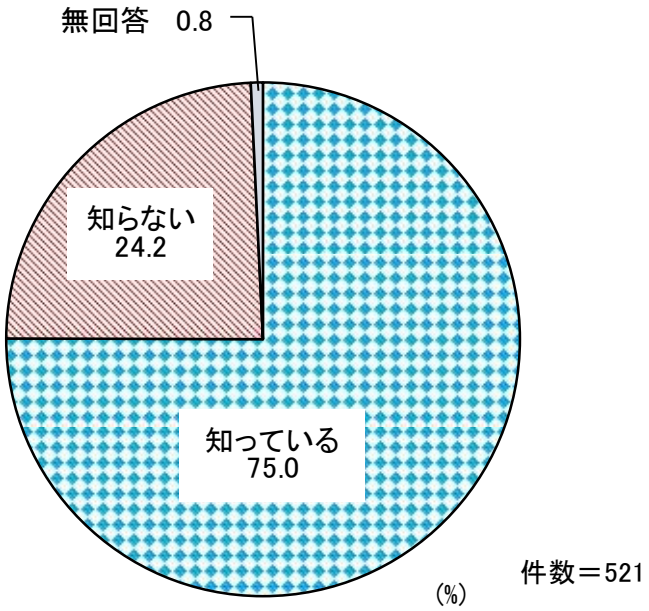


２－６　人とのつながりについて

（１）健康長寿に関与の認知

○　「人とのつながり」が健康長寿につながるといわれていることについては、「知っている」が75.0％と７割以上みられ、「知らない」は24.2％となっている。

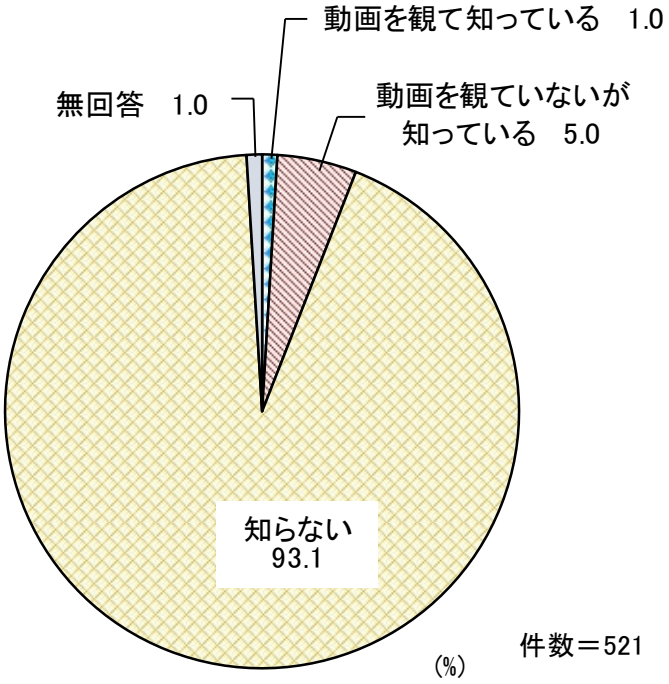
問21.　「人とのつながり」が健康長寿につながるといわれていることを知っていますか。



（２）熱田区地域包括ケア推進ドラマ「つながるっていいね」の認知度

○　熱田区が「人とのつながり」の大切さを伝えるために、名古屋市立大学の学生とともに熱田区地域包括ケア推進ドラマ「つながるっていいね」（動画）を制作したことについては、「動画を観て知っている」は 1.0%となっていて、「動画を観ていないが知っている」(5.0%)を合わせて 6.0%と知っている割合は 1 割に達していない。一方、「知らない」は 93.1%と 9 割以上を占めている。

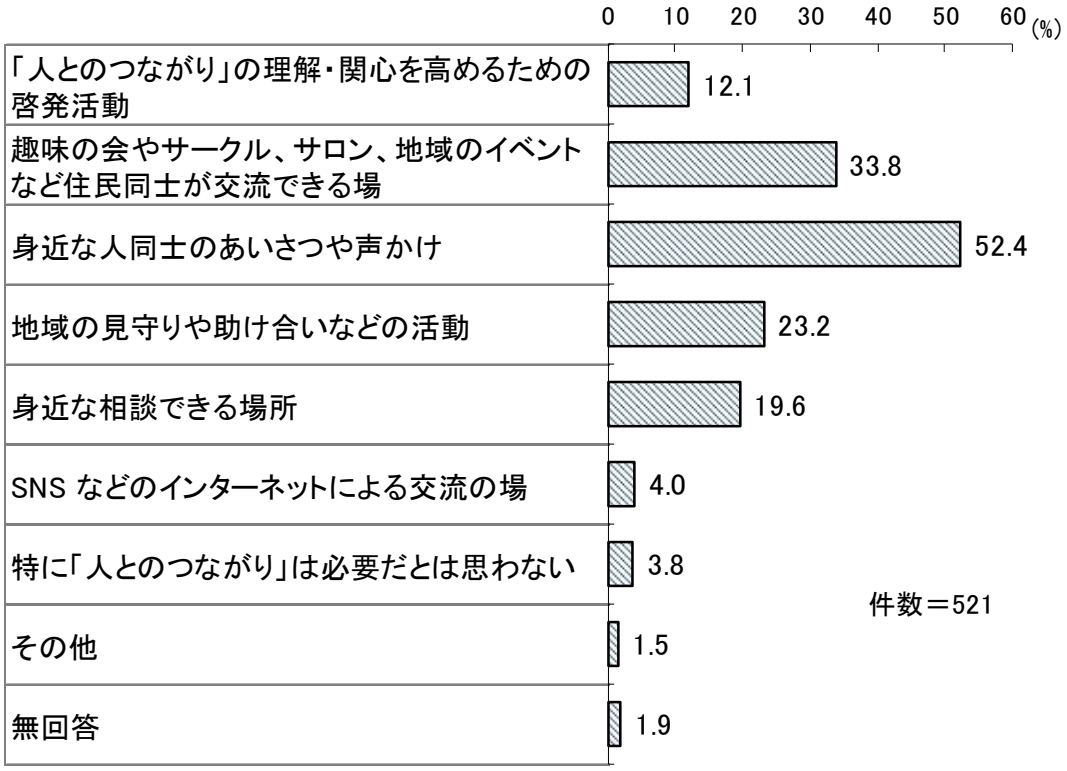
問 22. 熱田区では、「人とのつながり」の大切さを伝えるために、名古屋市立大学の学生とともに熱田区地域包括ケア推進ドラマ「つながるっていいね」(動画) を制作しましたが、そのことを知っていますか。



（３）「人とのつながり」のために必要なこと

○　「人とのつながり」のために、特に必要なこととしては、「身近な人同士のあいさつや声かけ」が 52.4％と 5 割以上で最も高く、「趣味の会やサークル、サロン、地域のイベントなど住民同士が交流できる場」が 33.8％と 3 割以上、「地域の見守りや助け合いなどの活動」（23.2％）、「身近な相談できる場所」（19.6％）が 2 割前後、「「人とのつながり」の理解・関心を高めるための啓発活動」（12.1％）が 1 割以上と続いている。一方、「特に「人とのつながり」は必要だとは思わない」は 3.8％と少数となっている。

問 23.「人とのつながり」のために、特に何が必要だと思いますか。。

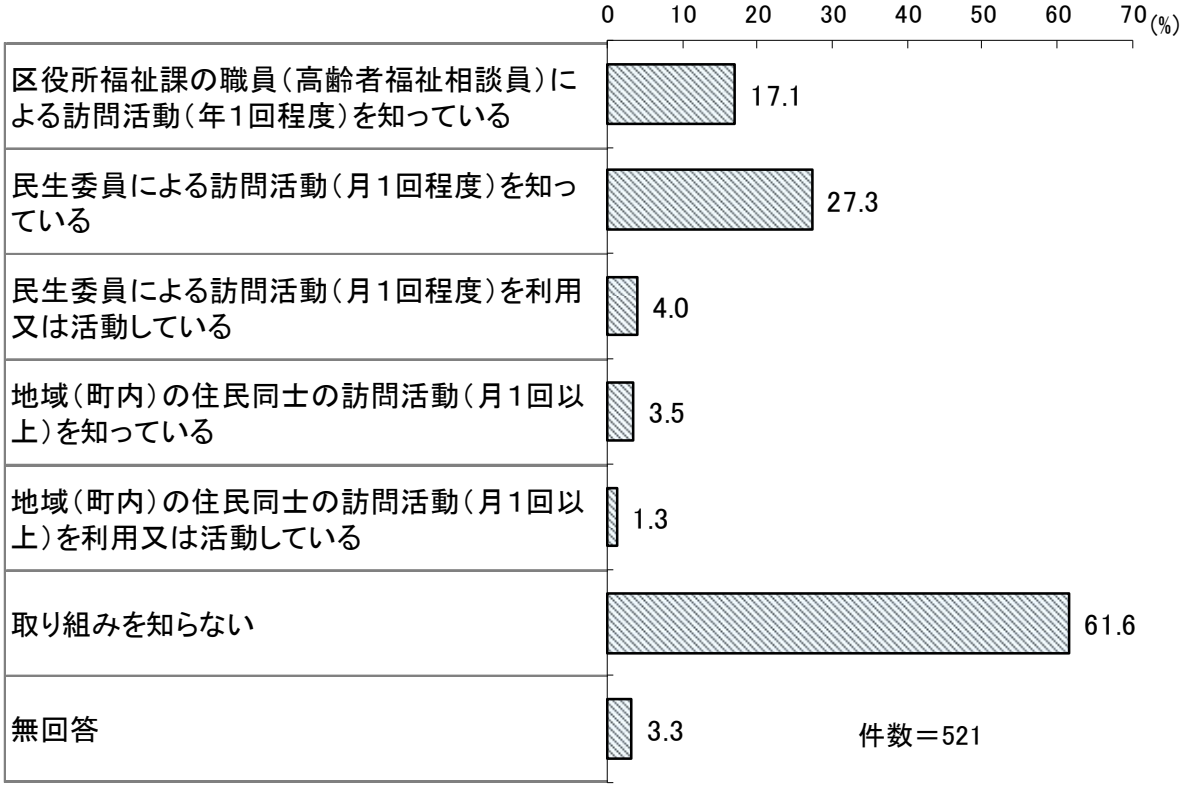


２－７．高齢者・障害者福祉について

（１）高齢者への訪問活動の利用・認知

○　「65 歳以上のひとり暮らしの高齢者」や「75 歳以上の高齢者のみ世帯」に対して地域や行政が行っている訪問活動については、「民生委員による訪問活動（月１回程度）を知っている」が 27.3％と３割程、「区役所福祉課の職員（高齢者福祉相談員）による訪問活動（年１回程度）を知っている」は 17.1％と２割程となっている。そして、「民生委員による訪問活動（月１回程度）を利用又は活動している」や「地域（町内）の住民同士の訪問活動（月１回以上）」については、１割に満たない。一方、「取り組みを知らない」が 61.6％と６割以上を占めている。

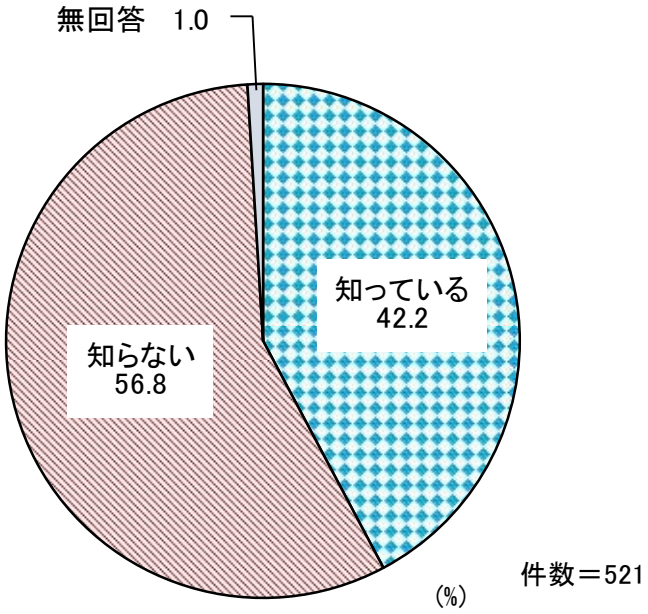
問 24.「65 歳以上のひとり暮らしの高齢者」や「75 歳以上の高齢者のみ世帯」に対して地域や行政が行っている訪問活動の取り組みを知っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



（２）介護保険利用時の相談先の認知

○　自分や家族が介護保険サービス（訪問介護やデイサービスの利用、手すりの設置や段差解消、つえなどの福祉用具の貸与）を利用したい場合の相談先については、「知っている」は 42.2％と 4 割以上となっている。一方、「知らない」は 56.8％と過半数を占めている。

問 25. 自分や家族が介護保険サービス（訪問介護やデイサービスの利用、手すりの設置や段差解消、つえなどの福祉用具の貸与）を利用したい場合の相談先を知っていますか。

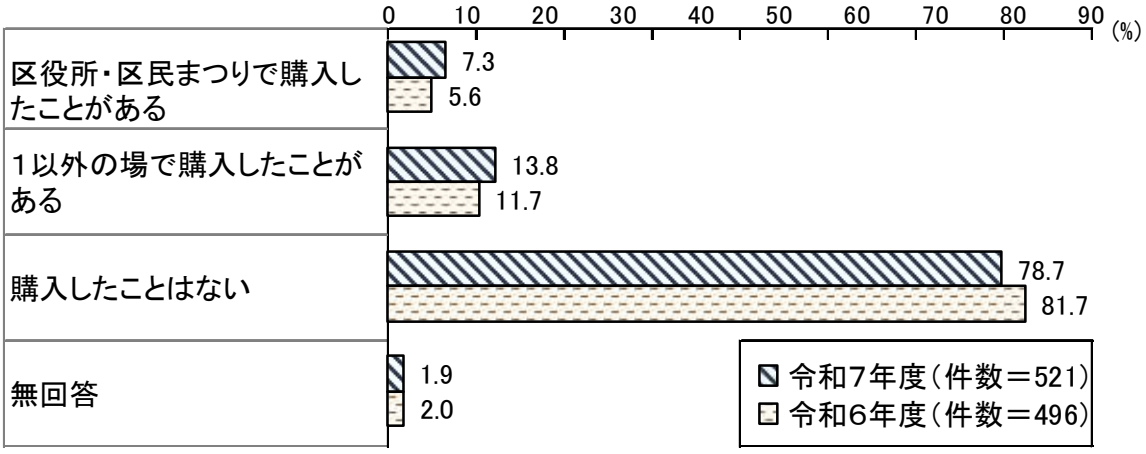


（３）授産製品の購入経験

○　障害のある方が製作した授産製品を購入したことがあるかについては、「区役所・区民まつり以外の場で購入したことがある」が 13.8%、「区役所・区民まつりで購入したことがある」は 7.3%である。一方、「購入したことはない」は 78.7%と 8 割程を占めている。

○　昨年度調査と比較すると、購入したことがある割合は、ともにやや増加しており、「購入したことはない」の割合は昨年度より 3 ポイント減っている。

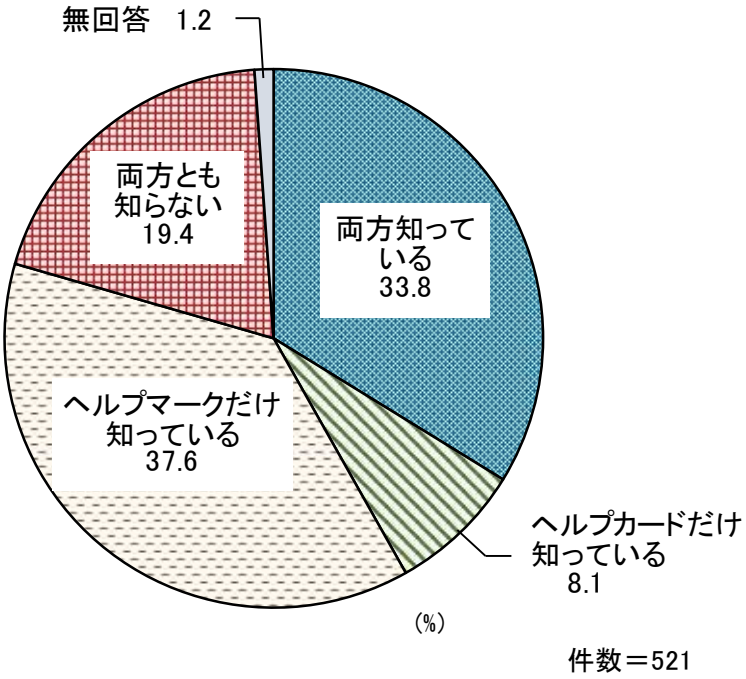
問 26. 区役所庁舎内（毎月第 2・4 金曜日）や区民まつりなどで障害のある方が製作した授産製品を販売しています。授産製品を購入したことがありますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。



（４）ヘルプカードやヘルプマークの認知

○　ヘルプカードやヘルプマークについては、「両方知っている」は 33.8％となっていて、「ヘルプマークだけ知っている」は 37.6％と最も高く、合わせて 71.4％と 7 割以上がヘルプマークを知っている。また、「ヘルプカードだけ知っている」（8.1％）と合わせて 41.9％と 4 割以上がヘルプカードを知っている。一方、「両方とも知らない」は 19.4％で 2 割となっている。

問 27.　ヘルプカードやヘルプマークについて知っていますか。

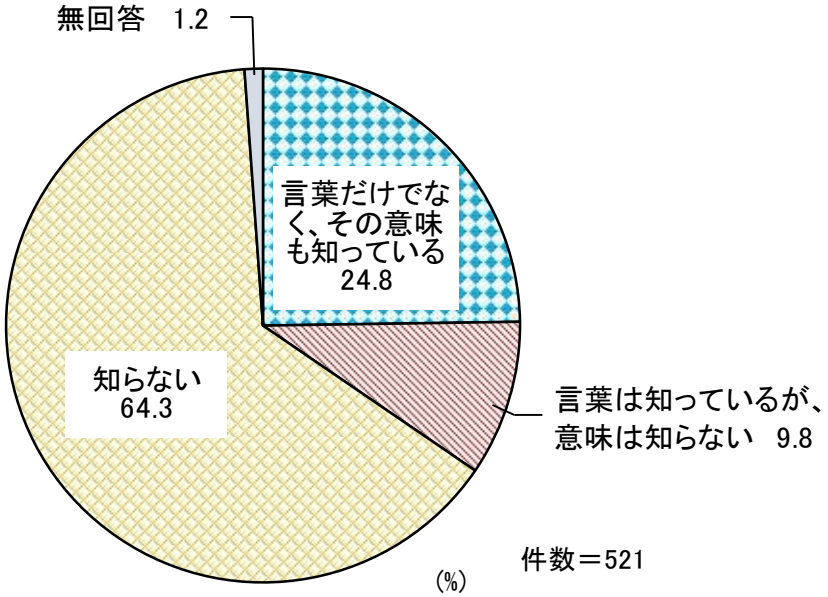


２－８．オーラルフレイルについて

（１）オーラルフレイルの認知

○　オーラルフレイルという言葉については、「言葉だけでなく、その意味も知っている」は 24.8%となっていて、「言葉は知っているが、意味は知らない」（9.8%）を合わせて、言葉を知っている割合は 34.6%と 3 割以上となっている。一方、「知らない」は 64.3%で 6 割以上となっている。

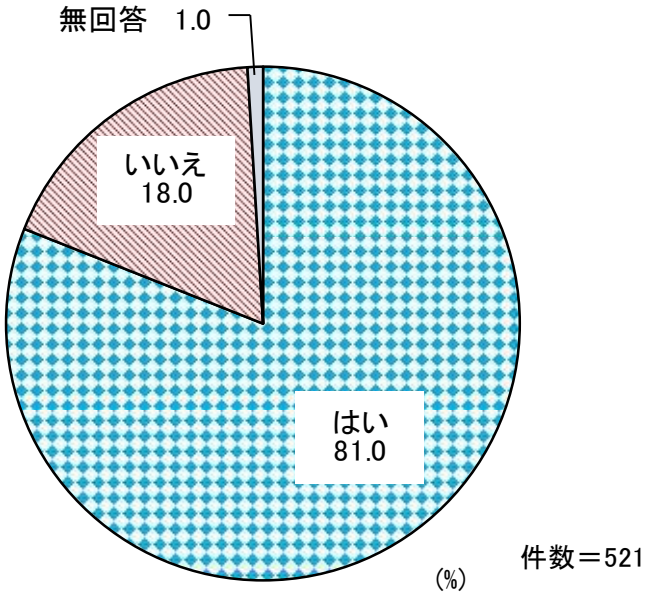
問 28. オーラルフレイルという言葉を知っていますか。



（２）かかりつけ歯科医の有無

○　かかりつけ歯科医があるかについては、「はい」の割合は 81.0％で、8 割以上があると回答している。一方、「いいえ」の割合は 18.0％となっている。

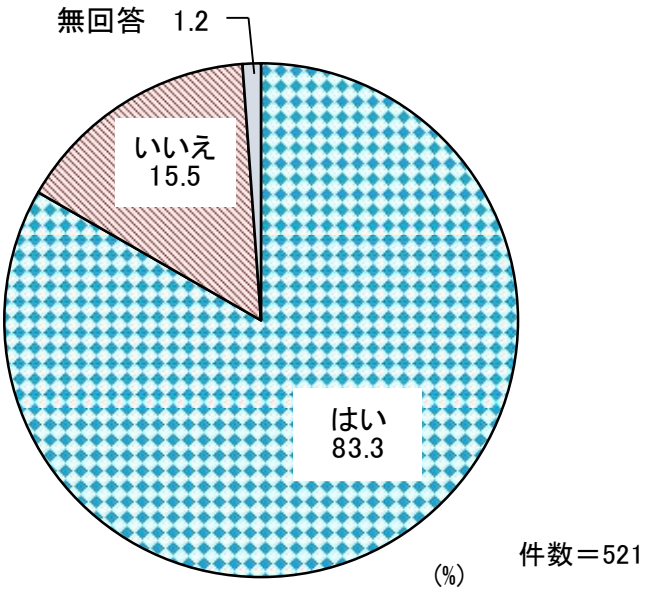
問 29. かかりつけ歯科医がありますか。



（３）口の健康が全身の健康に影響することの認知

○　口腔機能の低下が低栄養やフレイル（虚弱）を引き起こしやすくなることや歯周病が糖尿病などの生活習慣病と関連があることなど、お口の健康が全身の健康に影響することについては、「はい」の割合は 83.3%で、8 割以上が知っていると回答している。一方、「いいえ」の割合は 15.5%となっている。

問 30. 口腔機能の低下が低栄養やフレイル（虚弱）を引き起こしやすくなることや歯周病が糖尿病などの生活習慣病と関連があることなど、お口の健康が全身の健康に影響することを知っていますか。



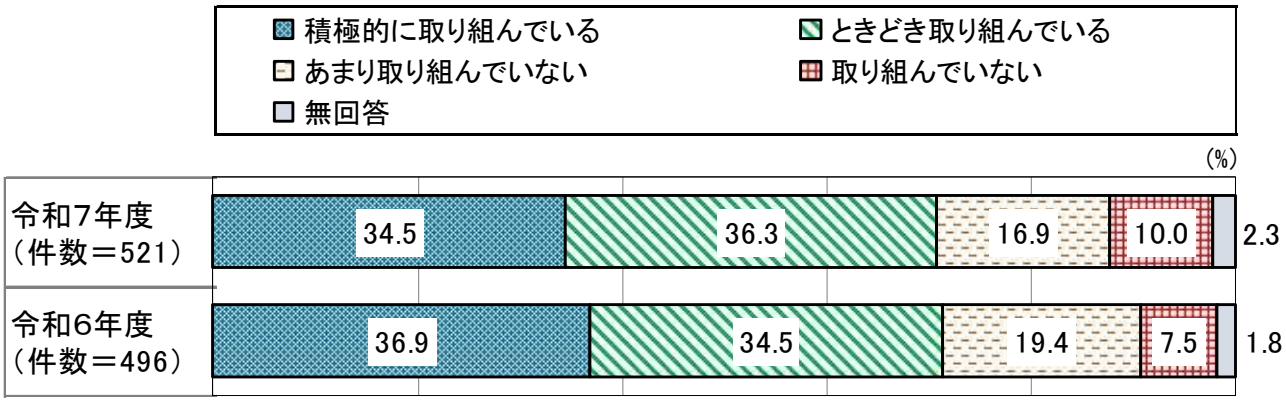
２－９．健康づくりについて

（１）健康づくりに取り組みの有無

○　朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に１回以上ウォーキング・ストレッチ・運動・スポーツを実施しているなど健康づくりに取り組んでいますかについては、「積極的に取り組んでいる」が 34.5%、「ときどき取り組んでいる」が 36.3%と、ともに高く、合わせて 70.8%と 7 割以上が健康づくりに取り組んでいる。一方、「あまり取り組んでいない」（16.9%）、「取り組んでいない」（10.0%）合わせて健康づくりに取り組んでいない割合は 26.9%となっている。

○　昨年度調査と比較しても、ほとんど差異はみられない。

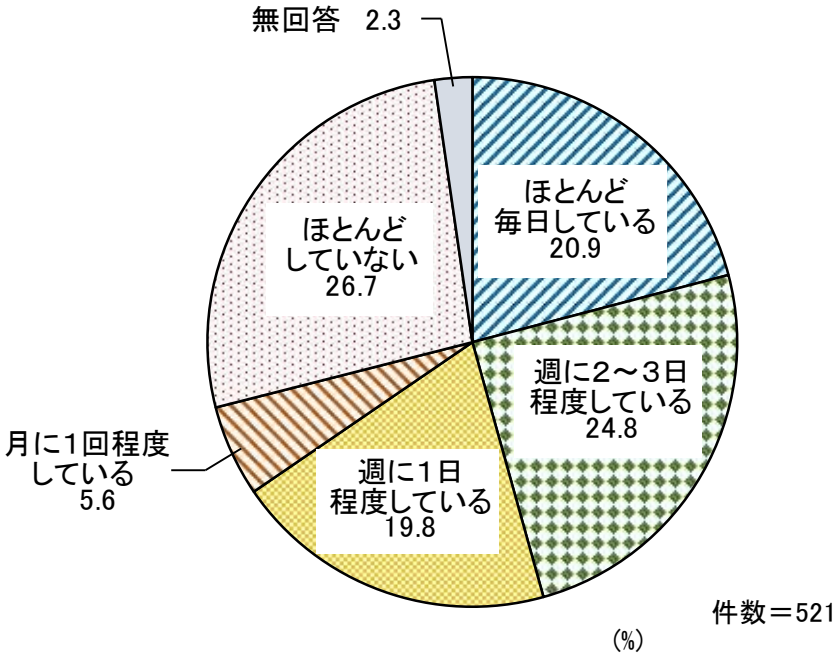
問 31．健康づくりに取り組んでいますか（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に１回以上ウォーキング・ストレッチ・運動・スポーツを実施しているなど）。



（２）運動やスポーツをする頻度

○　どのくらいの頻度で運動やスポーツ（散歩やラジオ体操など日常生活の中で気軽に身体を動かすことを含む。）をしているかについては、「ほとんど毎日している」は 20.9％で、「週に２～３日程度している」は 24.8％、「週に１日程度している」は 19.8％となっており、週に１日以上運動やスポーツをしている割合は 65.5％となっている。一方、「ほとんどしていない」の割合は 26.7％となっている。

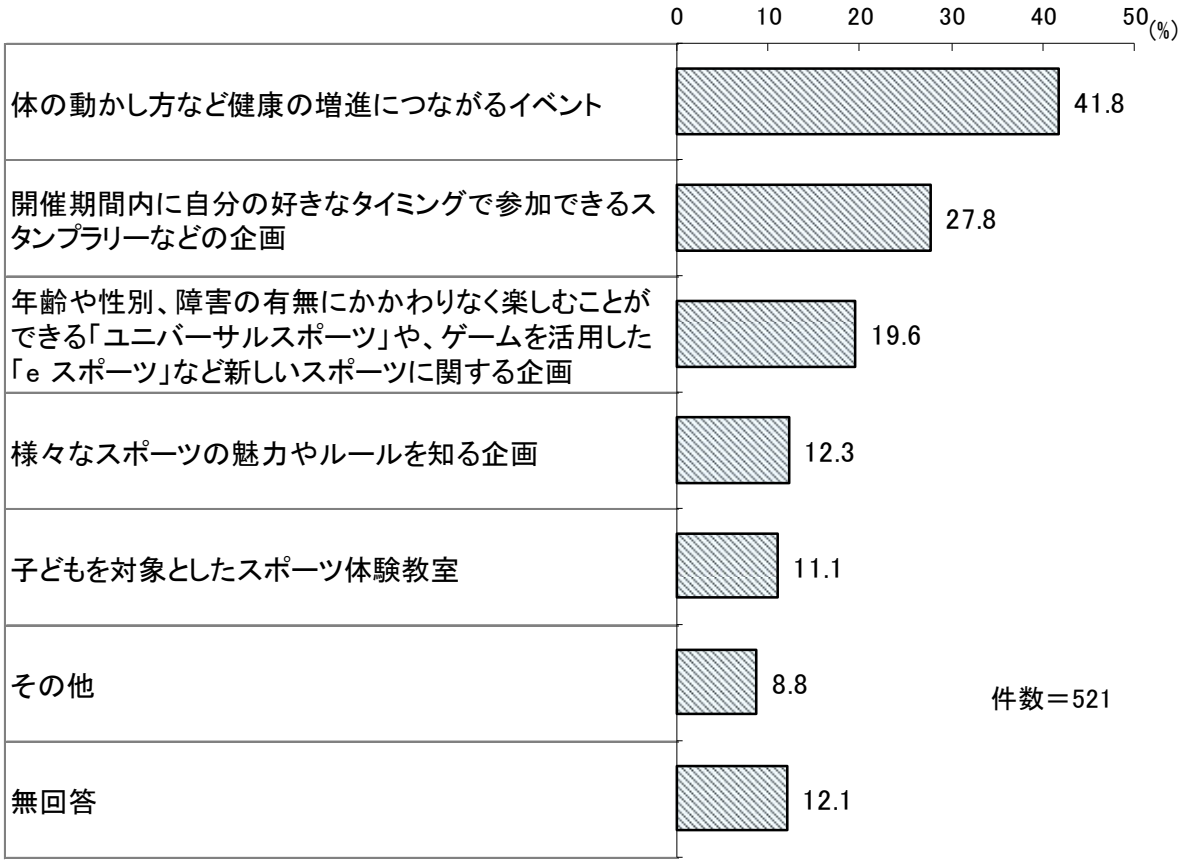
問 32. どのくらいの頻度で運動やスポーツ（散歩やラジオ体操など日常生活の中で気軽に身体を動かすことを含む。）をしていますか。



（３）参加したい・人に薦めたい運動・スポーツ関連企画

○　運動・スポーツ関連企画で、どのようなものであれば参加したい、または人に薦めたいと思うかについては、「体の動かし方など健康の増進につながるイベント」の割合が 41.8％と 4 割以上で最も高く、次いで、「開催期間内に自分の好きなタイミングで参加できるスタンプラリーなどの企画」（27.8％）が 3 割程、「年齢や性別、障害の有無にかかわりなく楽しむことができる「ユニバーサルスポーツ」や、ゲームを活用した「e スポーツ」など新しいスポーツに関する企画」（19.6％）が 2 割、「様々なスポーツの魅力やルールを知る企画」（12.3％）、「子どもを対象としたスポーツ体験教室」（11.1％）がそれぞれ 1 割程と続いている。

問 33. 運動・スポーツ関連企画で、どのようなものであれば参加したい、または人に薦めたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

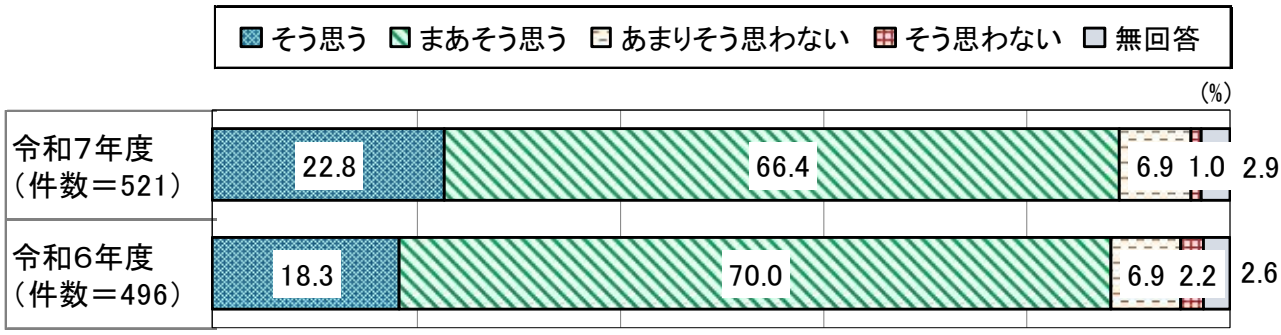


２－10. 熱田区は「魅力的なまち」かについて

○　熱田区は「魅力的なまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が 66.4%と最も高く、「そう思う」の 22.8%と合わせて 89.2%が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」（6.9%）、「そう思わない」（1.0%）合わせて否定的評価の割合は 7.9%となっている。

○　昨年度調査と比較すると、「そう思う」という強い肯定的な評価の割合がやや増えており、評価は若干向上している。

問 34. 熱田区は「魅力的なまち」だと思いますか。



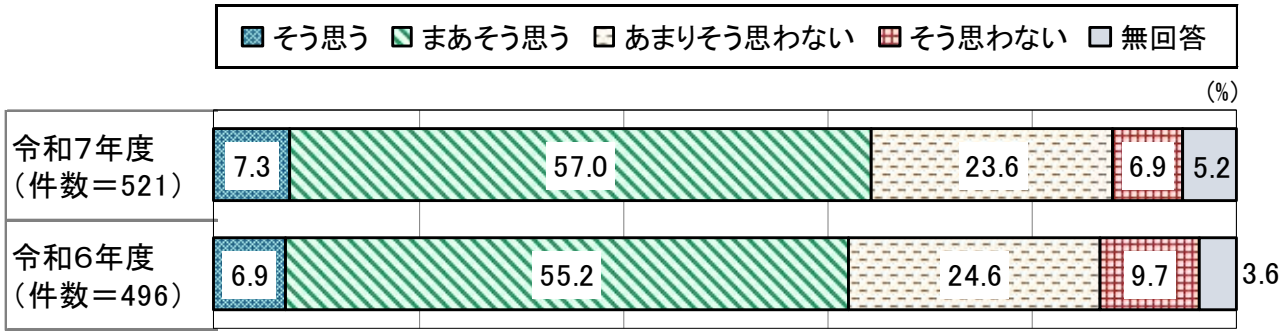
２－11. 地域活動について

（１）地域活動は活発かについて

○　地域の住民による地域活動が活発に行われていると思うかについては、「まあそう思う」が57.0%と最も高く、「そう思う」の 7.3%と合わせて 64.3%と 6 割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」は23.6%であり、「そう思わない」(6.9%) と合わせて否定的な評価の割合は30.5%となっている。

○　昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合が若干増加し、否定的な評価の割合が減少しており、評価は向上している。

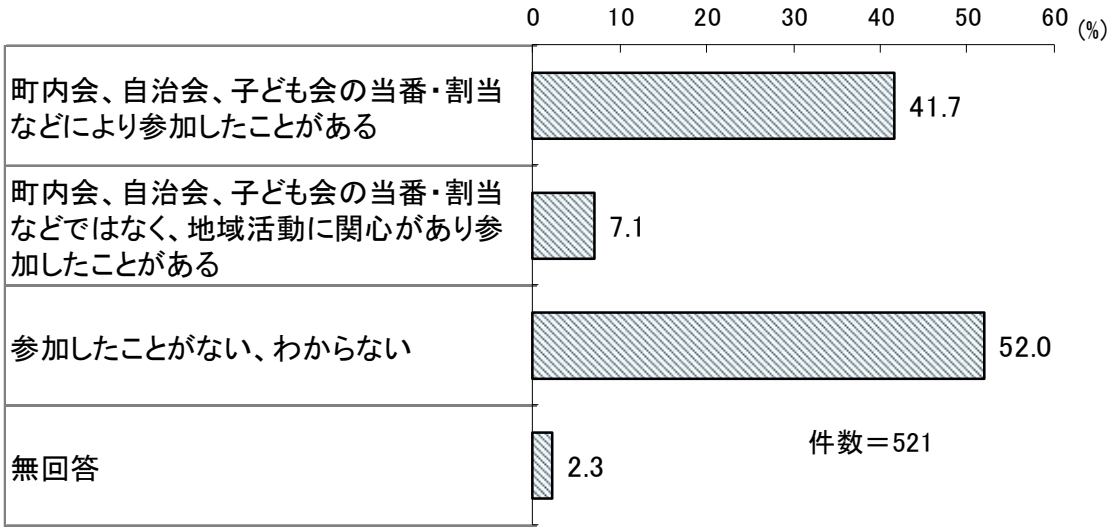
問 35. 地域の住民による地域活動が活発に行われていると思いますか。



（２）地域活動への参加経験

○　地域では、防災や防犯をはじめ、交通安全や清掃活動、子育て支援など、様々な活動が行われていますが、このような活動に参加したことがあるかについては、「町内会、自治会、子ども会の当番・割当などにより参加したことがある」が 41.7%、「町内会、自治会、子ども会の当番・割当などではなく、地域活動に関心があり参加したことがある」は 7.1%である。一方、「参加したことがない、わからない」は 52.0%と 5 割以上となっている。

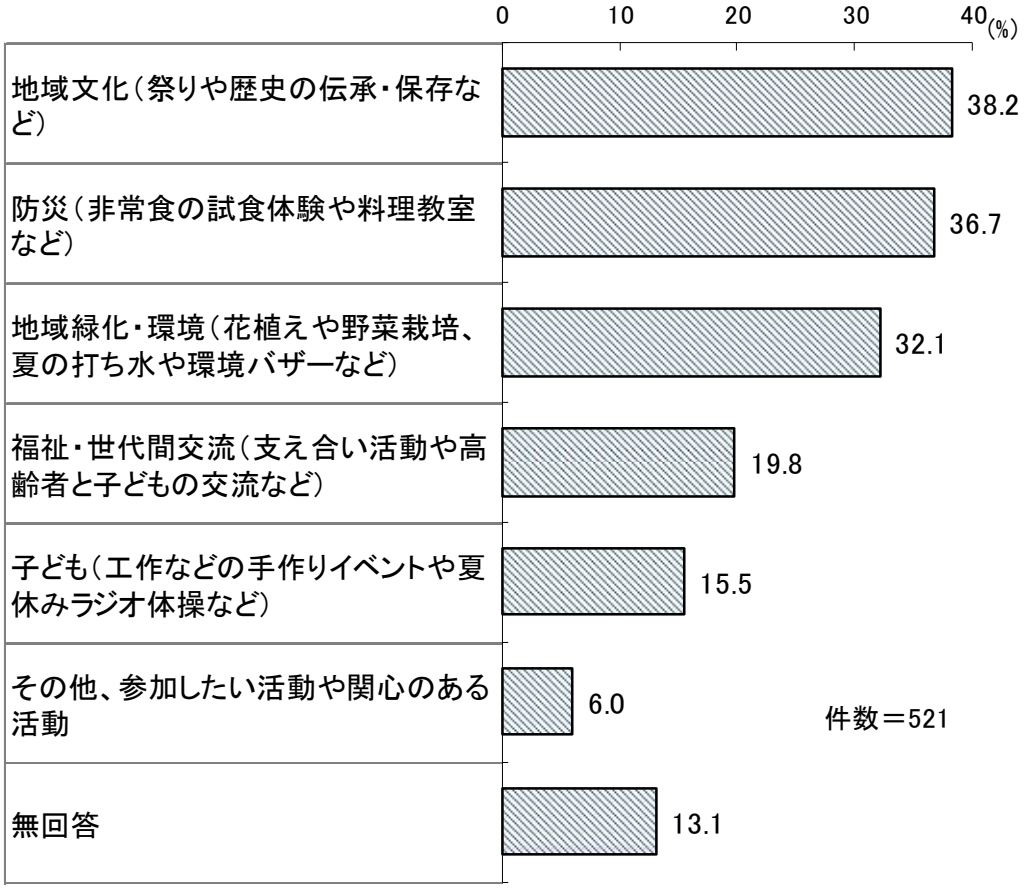
問 36. 地域では、防災や防犯をはじめ、交通安全や清掃活動、子育て支援など、様々な活動が行われていますが、このような活動に参加したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



（３）参加したい地域活動

○　地域にどのような活動があれば、参加したいと思うかについては、「地域文化（祭りや歴史の伝承・保存など）」が 38.2%、「防災（非常食の試食体験や料理教室など）」が 36.7%、「地域緑化・環境（花植えや野菜栽培、夏の打ち水や環境バザーなど）」が 32.1%と、参加したい活動は比較的分散している。以下、「福祉・世代間交流（支え合い活動や高齢者と子どもの交流など）」（19.8%）、「子ども（工作などの手作りイベントや夏休みラジオ体操など）」（15.5%）が、それぞれ２割程で続いている。

問 37. 地域にどのような活動があれば、参加したいと思いますか。あてはまるものに３つまで○をつけてください。

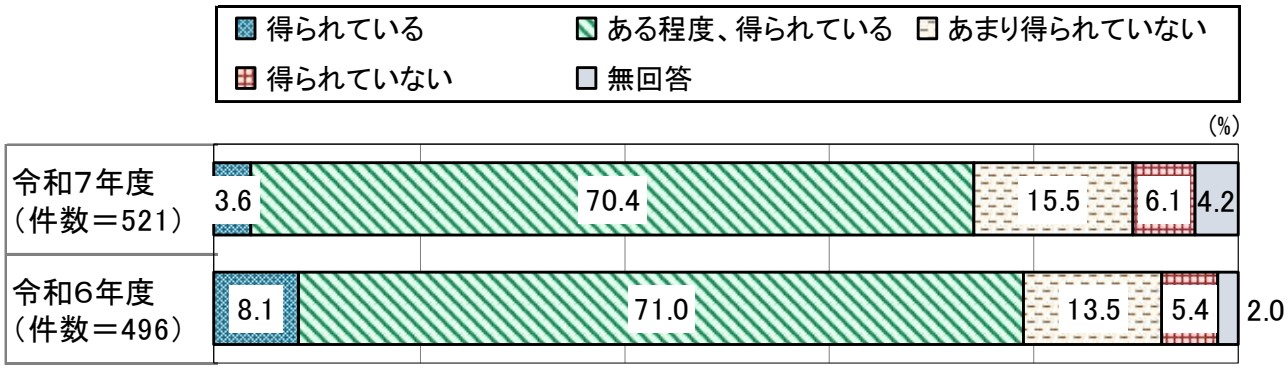


２－12　行政サービスの情報は十分かについて

○　区役所が提供する行政サービスについて、知りたい情報が十分に得られているかについては、「ある程度、得られている」が 70.4%と最も高く、「得られている」の 3.6%と合わせて 74.0%と肯定的な評価の割合は 7 割以上となっている。一方、「あまり得られていない」（15.5%）、「得られていない」（6.1%）合わせて否定的な評価の割合は 21.6%となっている。

○　昨年度調査と比較すると、「得られている」がやや減少しており、評価は低下している。

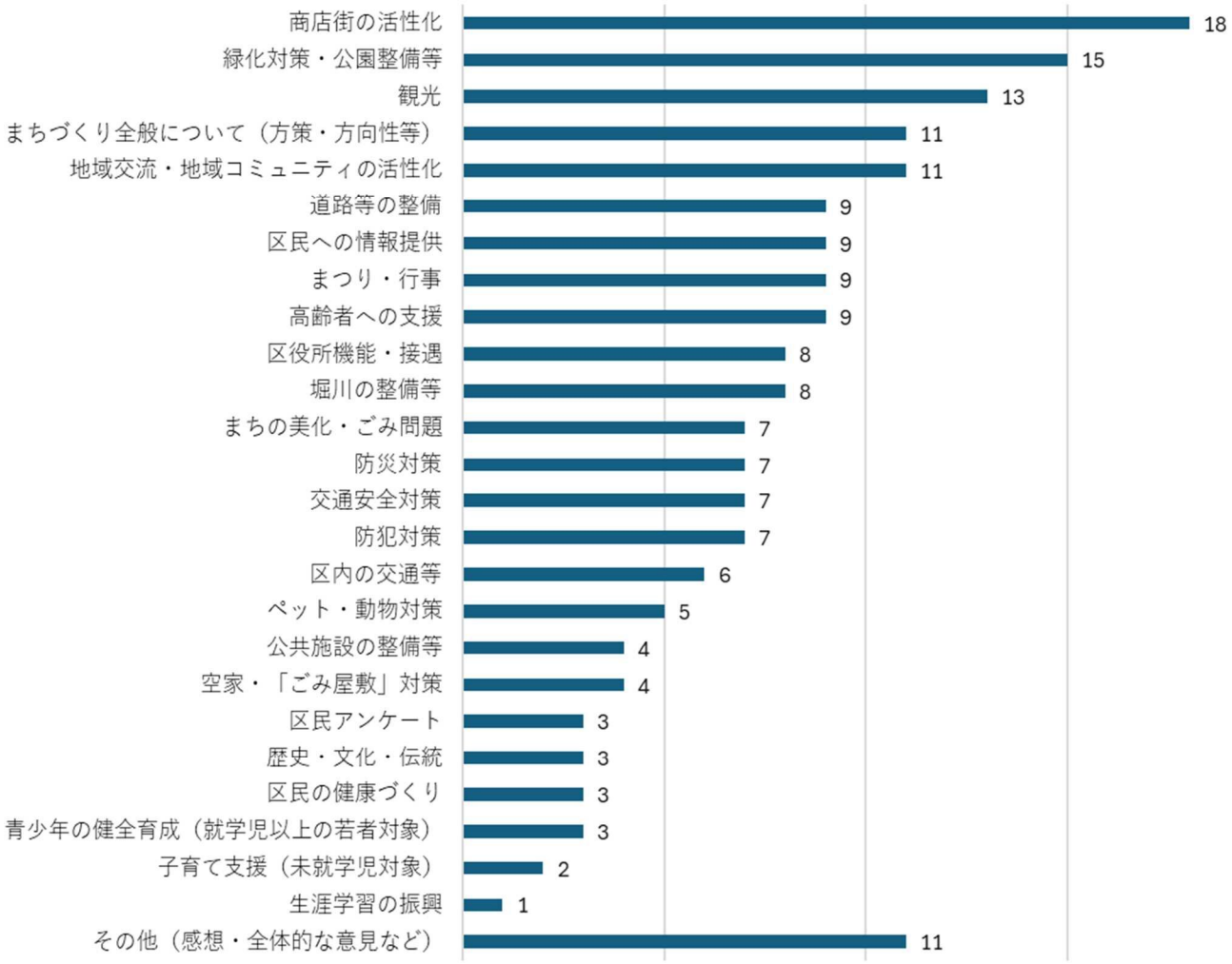
問 38.　区役所が提供する行政サービスについて、知りたい情報が十分に得られていますか。



３．ご意見・ご要望等（自由記入）

問 39. 熱田区をさらに魅力あふれるまちにするために取り組むとよいことがありましたら、ご自由にお書きください。

熱田区に対するご意見を自由に記入していただいたところ、１９３件のご意見をいただきました。



お問い合わせ先：熱田区役所企画経理課
〒456－8501　名古屋市熱田区神宮三丁目１番 15 号
TEL：　(052)683－9688
FAX：　(052)682－1496
E-mail：　a6839686@atsuta.city. nagoya. lg. jp